

2018/10/27 日本国際観光学会 第22回全国大会

海外向け乗換案内利用者の 台湾におけるインバウンドの実態

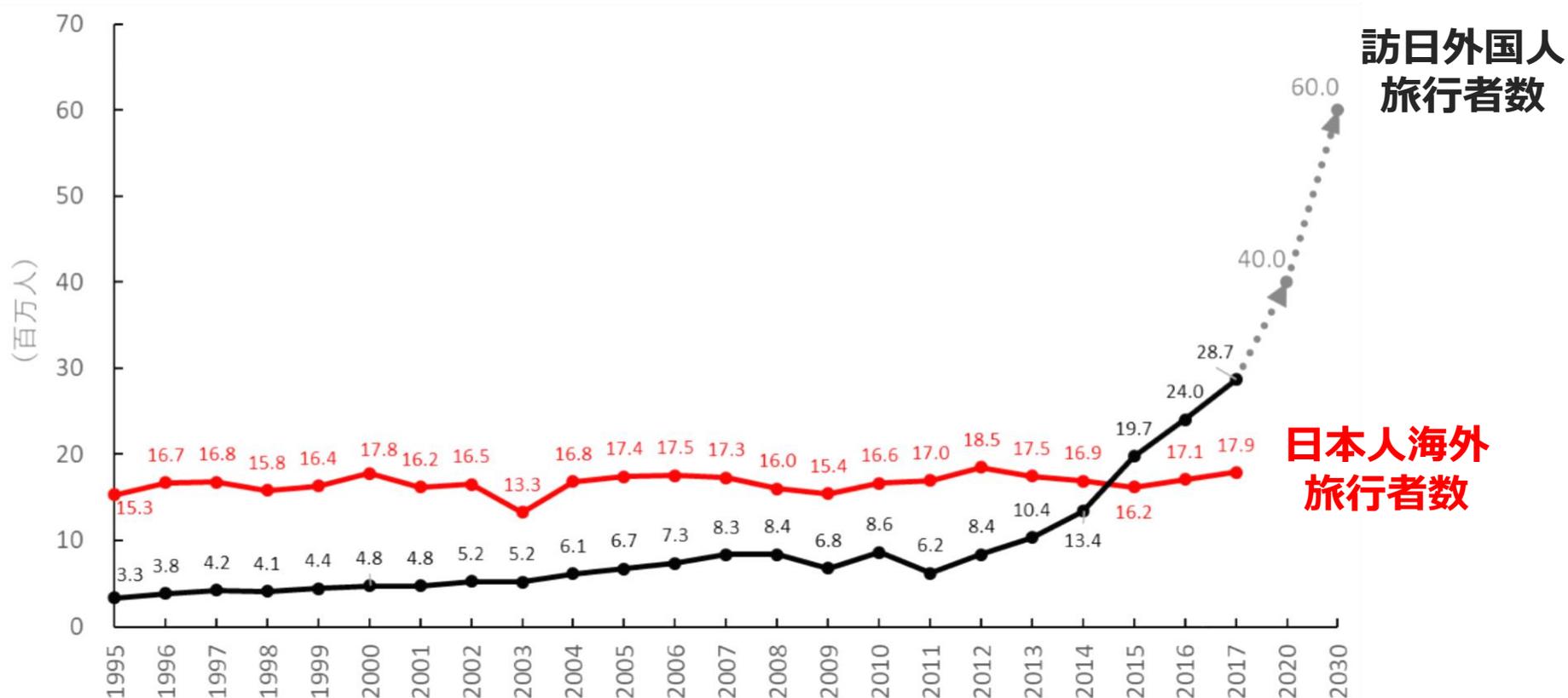
日本から台湾へのアウトバウンドにも着目して



株式会社ナビタイムジャパン
交通コンサルティング事業部
○小竹 輝幸・高木知里・内 大介

1.はじめに

- 訪日外国人旅行者数は順調に増加
- 日本人海外旅行者数は横ばい。益々差が開いてゆくことが予想される



出典：日本政府観光局(JNTO)

アウトバウンドにおいても
マーケティング調査や動態分析について、知見を深めてゆく

世界の路線図・乗換案内をサポートする海外旅行者向けアプリの利用ログ



43国・地域 **17**言語での
路線図・乗換案内の提供

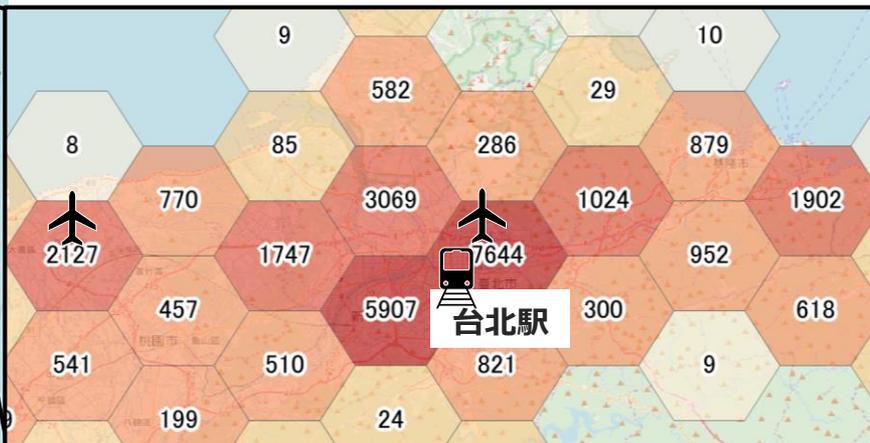
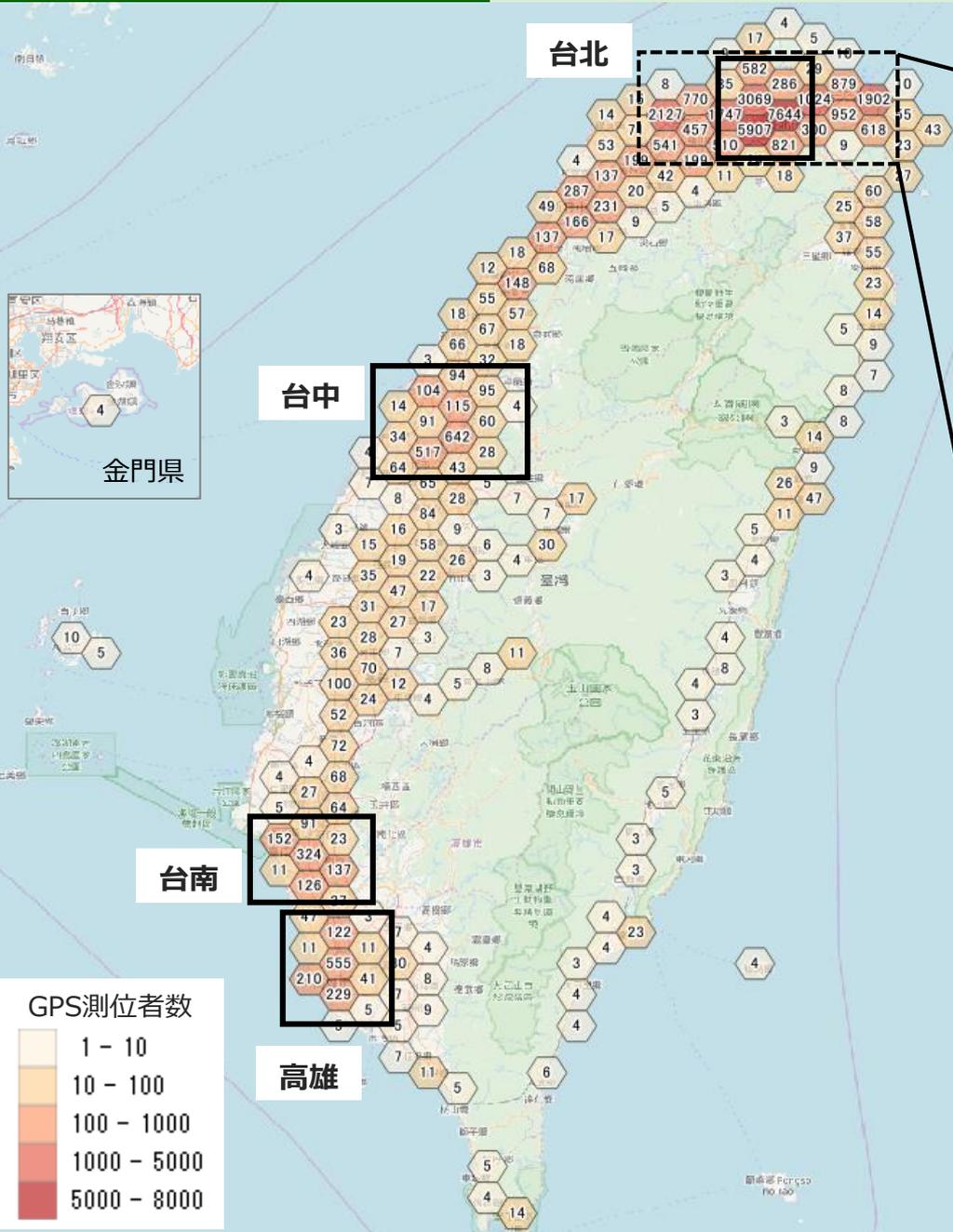
主な機能

- 路線図/鉄道情報を利用した乗換検索
- 移動手段は鉄道・バス・フェリーなど
- オフラインでの利用も可能

動態分析

- 乗換検索の利用ログ
(発着地/日時/端末利用言語など)
 - GPSログ
(位置情報/日時/端末利用言語など)
- ※ 分析対象は日本人訪台観光客も多い台湾を選定

2.台湾の概観



- 鉄道沿線の地域で測位が確認され、観測数は東部よりも西部で多い。
- 台北駅を中心に台北市での測位数が最も多く観測された。
- 台北以外では台中/台南/高雄での測位数が多い。

指定区間は台北に集中



- 台北駅や空港以外に、人気観光地九份の最寄り駅である瑞芳駅や十分駅を指定した検索が上位に
- 瑞芳駅や十分駅は日本語利用者が指定する割合が高い。

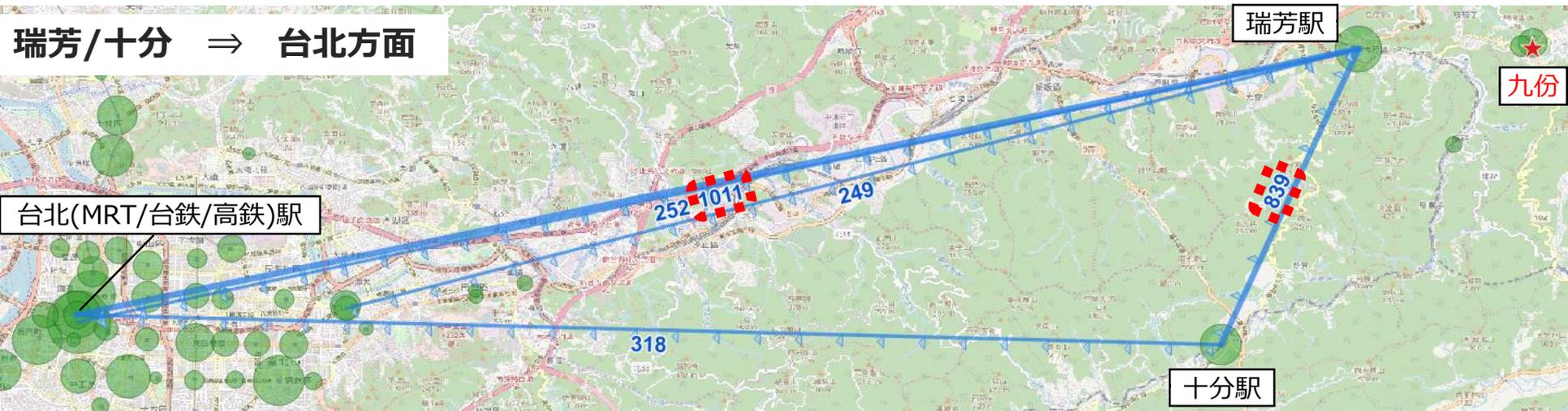
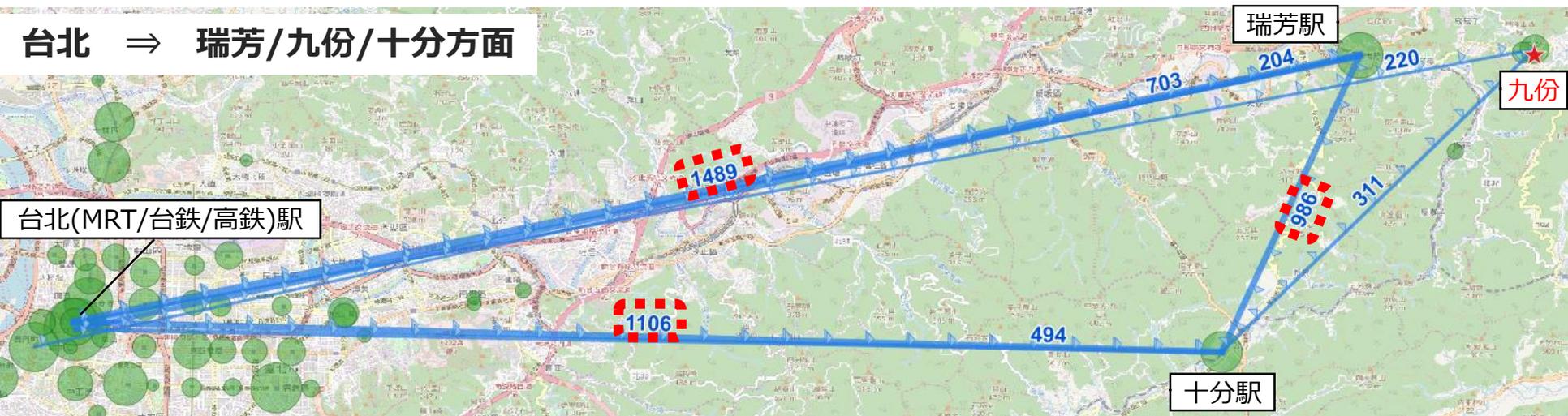
区間別ランキング

順	出発駅	到着駅	検索数	
			全体	日本語利用者
1	台北(MRT)	機場第一航廈(桃園空港MRT)	4,564	86%
2	台北(台鉄)	瑞芳	4,103	93%
3	台北(台鉄)	十分	3,520	96%
4	台北(MRT)	機場第二航廈(桃園空港MRT)	2,795	86%
5	機場第一航廈(桃園空港MRT)	台北(MRT)	2,494	82%
6	瑞芳	台北(台鉄)	2,426	93%
7	瑞芳	十分	2,342	94%
8	十分	瑞芳	2,088	94%
9	機場第二航廈(桃園空港MRT)	台北(MRT)	1,936	83%
10	台北(MRT)	瑞芳	1,564	91%

日本語利用者が多い

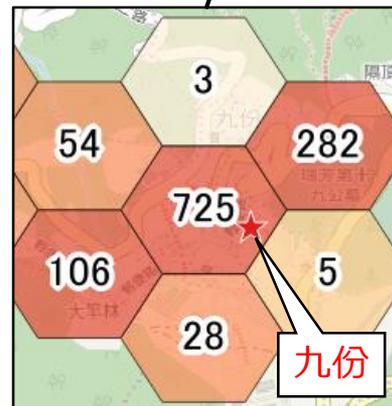
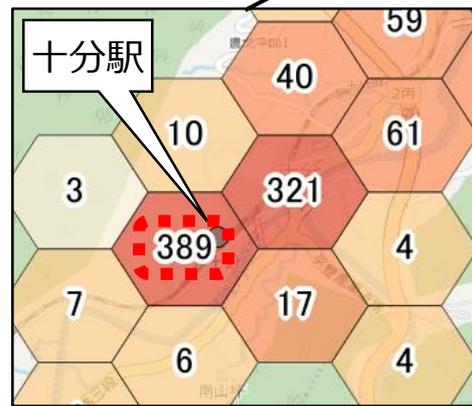
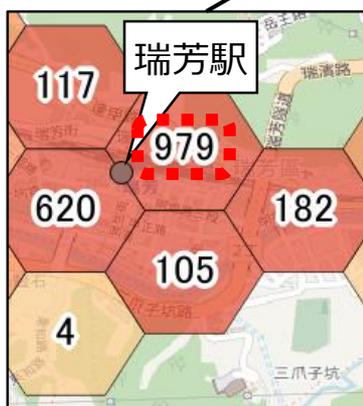
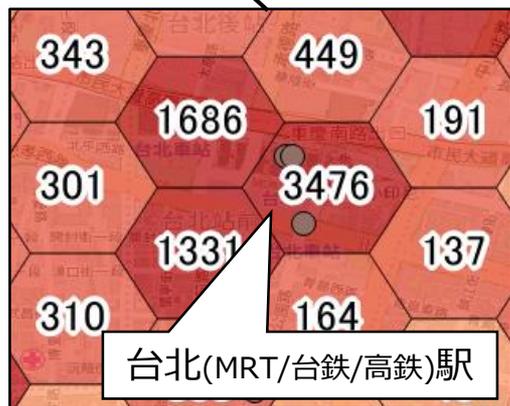
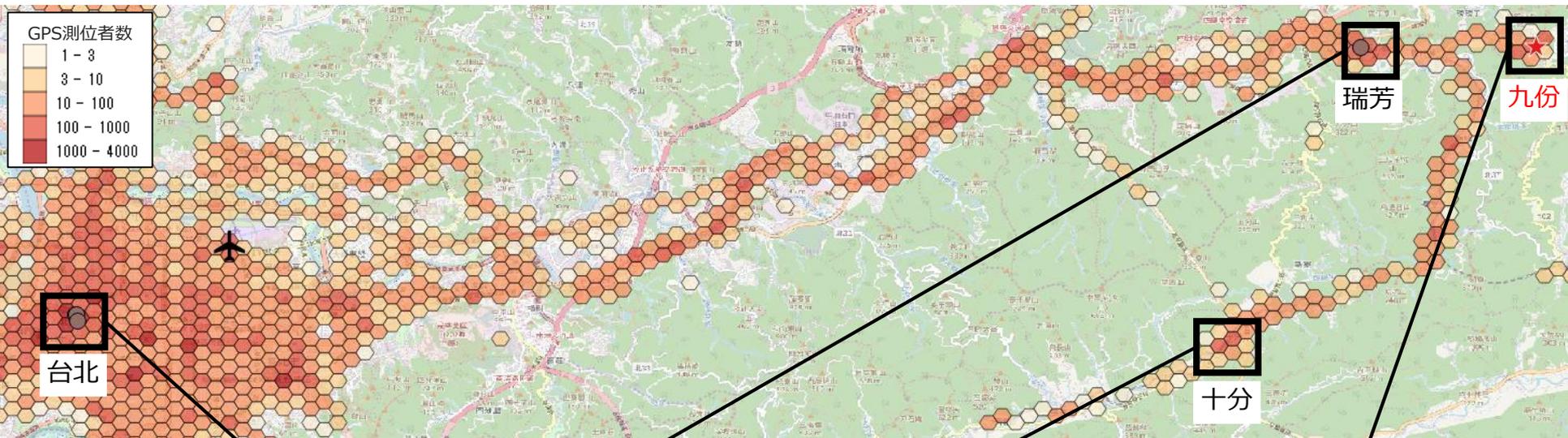


3.九份・十分



- 乗換検索で瑞芳駅を出発地/目的地に指定したユーザー数に匹敵するほど十分駅は検索されている。
- 十分は観光地としてのポテンシャルはある。

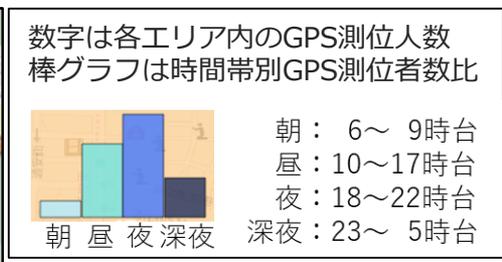
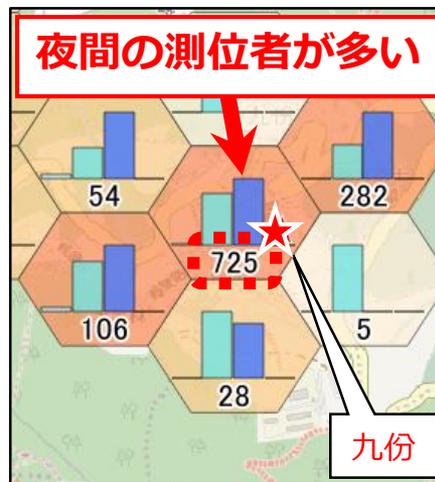
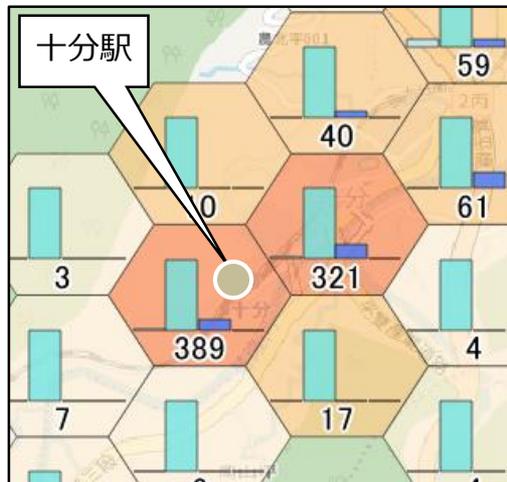
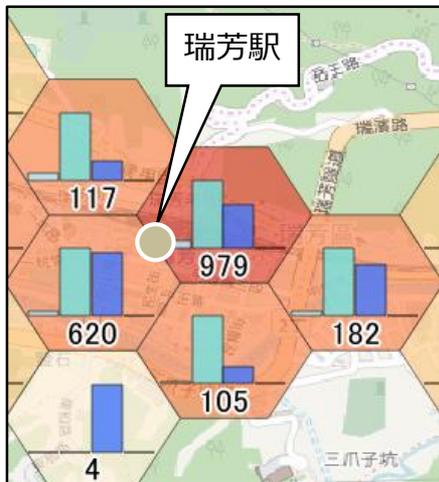
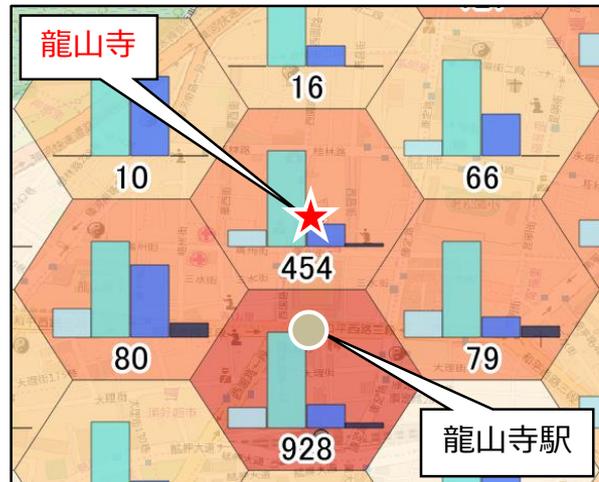
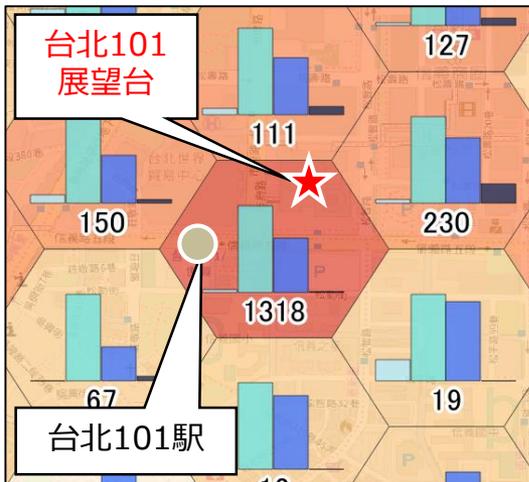
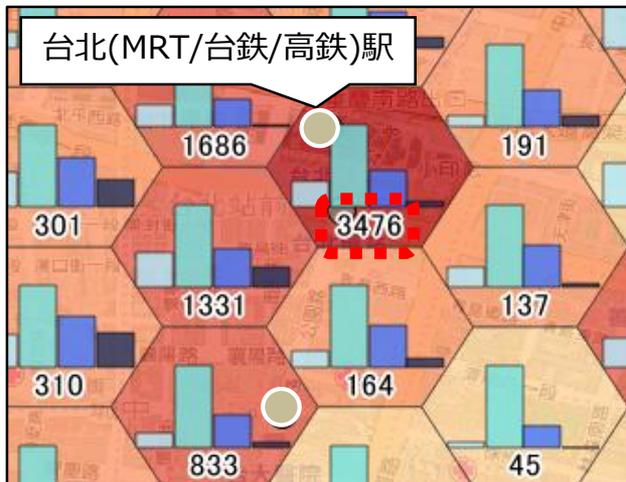




検索人数に対する測位人数

駅名	目的地検索人数	GPS測位人数	測位/検索
瑞芳	3,186	979	30.7%
十分	2,492	389	15.6%
台北(MRT)	5,982	3,476	58.1%

- 目的地検索した人数に対してGPS測位された人数を見ると、十分駅は瑞芳駅に比較して少ない。
- 十分は交通の不便さや時間などの制約から、**実際には訪れるのを断念する人が多いのではと推測。**



- ・九份付近は、台北駅付近で測位された人数の**20.9%相当が測位**されるメジャーな観光地
- ・台北中心の主な観光地や瑞芳駅、十分駅付近は、昼に訪れる人が多いが、**九份付近は夜が多く、ライトアップされた九份に人気**が集まるよう。

4.夜市

士林夜市

夜市周辺は昼間の測位者数が多い

士林駅

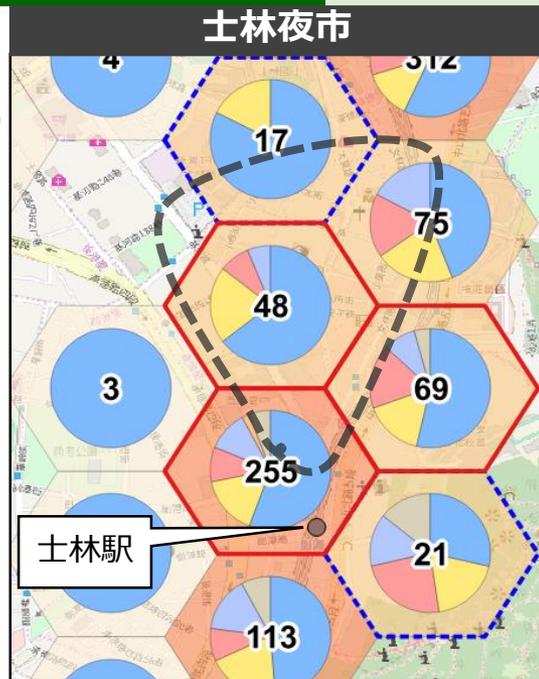
饒河街夜市

松山(MRT/台鉄)駅

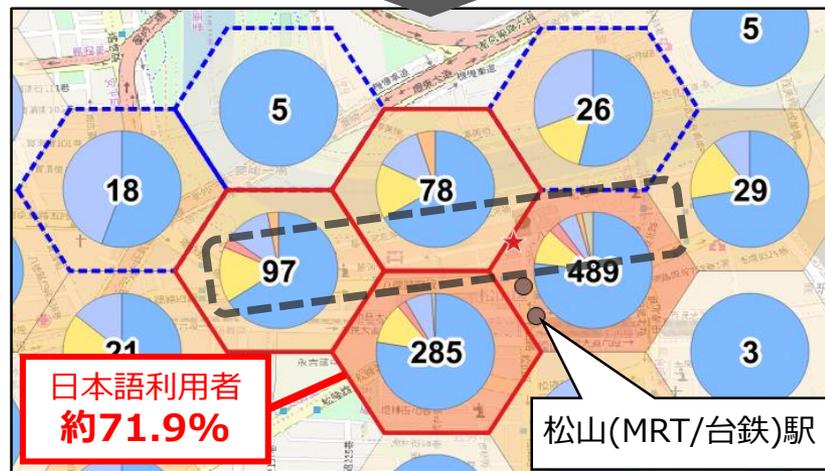
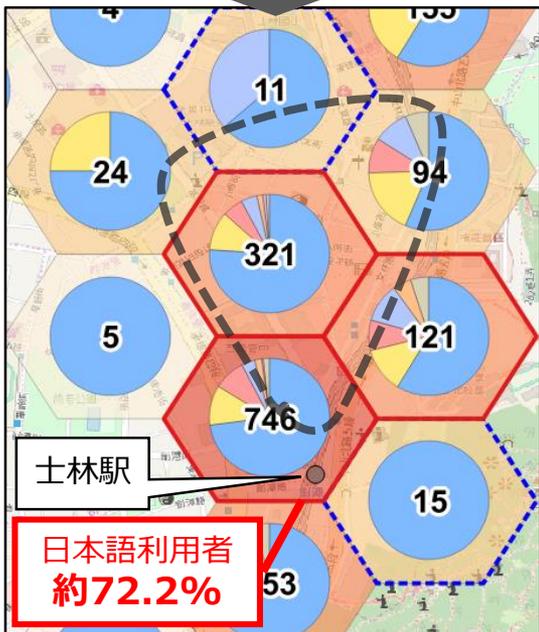
夜市中心部及び駅周辺は夜間の測位者数が多い

- ・ 士林夜市と饒河街夜市付近では夜に測位されるユーザーが顕著に増えている。
- ・ 駅付近と駅近辺の夜市開催地付近の時間帯推移を比較しても、昼と夜の測位者数の違いが出ている。

昼
(10~17時台)



夜
(18~22時台)



- 台湾で測位された約56%が日本語利用者。
- 士林夜市と饒河街夜市では、**夜の時間帯の日本語利用者の割合が高い。**
- 日本語利用者に人気のナイトスポットの1つ。

5.さいごに

本研究の成果

台湾を訪れるインバウンド旅行客の動態について、海外向け乗換案内アプリNAVITIME Transitから取得できるGPSデータおよび経路検索条件データのビックデータを用いて動態を把握した。



今後の展開

・滞在判定

この地点を通過しているか、観光しているかを明らかにできるようにする。

・GPSデータと経路検索条件データとの関連付け

この地点を通過しているか、実際に現地を訪れた旅行者がいつ検索をしたかなど、旅行者の計画と行動の傾向を明らかにできるようにする。

・旅程分析

台湾への平均宿泊日数や台湾内での宿泊地の変遷などを把握できるようにする。

・台湾以外のインバウンド動態の分析

台湾以外のエリアについても同様な分析を実施できるようにする。